

2015年4月1日

各 位

みずほ信託銀行株式会社

国内金融機関向け不動産私募ファンドの組成について

みずほ信託銀行株式会社（取締役社長 中野 武夫）は、このたび国内金融機関のお客さま向けに不動産私募ファンドを立ち上げ、物件の取得を完了いたしましたのでお知らせいたします。

1. ファンドの概要

投資形態	匿名組合出資による不動産私募ファンド
アセットマネージャー	みずほ信託銀行
当初組入物件	東京 23 区内の賃貸住宅
レバレッジ（借入金）	フルエクイティ（借入金は利用せず）

2. ファンドの特徴

市場金利が低水準で推移し、融資や債券の収益性も低下している運用環境の中、賃貸不動産から得られる安定した賃料に注目し、中長期的に運用利回りを確保することを目的としております。

また、レバレッジを効かせないフルエクイティの投資を行うことで、借入金利変動リスク、リファイナンスリスク、担保実行リスク等を排除でき、借入金を利用したファンドと比較してリスクが抑えられています。

今後も、当行では、国内の地方銀行や信用金庫等のお客さまに対して、賃貸住宅に限らず、安定した賃料収入が見込まれる優良な不動産を投資対象とした同様のファンドを組成し、新たな運用機会の提供に努めて参ります。

なお、本ファンドは募集が終了しており、現在は投資することができません。

以 上